

目標達成計画

事業所：グループホームゆとりの里 三石

作成日：平成 24年 3月 16日

市町村受理日：平成 24年 3月 28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策について火災時の避難訓練、23年度は地震による津波想定での避難訓練を実施したが、ホーム内での日中の訓練しか実施出来なかった。次年度は夜間を想定した訓練や地域近隣住民、町行政との連携した訓練を実施しなければならない。また職員の救命講習も行いたい。	夜間の訓練を想定し、どの職員でも対応出来るようにする。 地域住民に呼びかけ当ホームの災害想定訓練に参加していただく。	・夜間は職員が各ユニット1名ずつなので緊急時に対応出来る訓練を実施し、いつ災害が起こっても対応出来るよう数回実施。 ・地域の方に訓練の詳細、趣旨を説明し実際の災害時の役割を決めたり徹底する。	H24.4 ～ H25.3
2	4	地域交流をもっと日常的にしたいので、運営推進会議で話し取り込む事。	メンバーの拡大。 家族の意見をもっと取り入れ運営に繁栄させる。	・家族に議事録を送る。 ・地域の人、ボランティアの人にも声を掛けてみる。	H24.4 ～ H25.3
3	26	介護計画の基となるセンター方式を初回時しか活用出来ていない。 細かく取り入れ計画に活かす。	センター方式から本人の要望、家族の意見を聞き計画に取り入れる。 センター方式の見直し。	・日々の生活の記録シートの簡素化。 ・3カ月に一度センター方式を確認し情報を追加。	H24.4 ～ H25.3
4	33	過去にも看取りを経験しているが、終末期に向けた家族の意向が食い違う場面もあったため、終末期への指針や同意書を見直す必要があり、利用者や家族が分かりやすく納得出来るように努めたい。	終末期に向けた指針及び同意書の見直し。 利用者や家族の意向を聞き納得出来る支援。	・指針や同意書を運営者や管理者を中心に見直し利用者や家族への対応を考える。 ・家族だけに意向を聞かず、本人（利用者）の意向も酌み、認知症の方などで上手く伝えられない利用者には尊厳を守り日常会話等から聞き、それにあつた支援に努める。	H24.4 ～ H25.3

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。